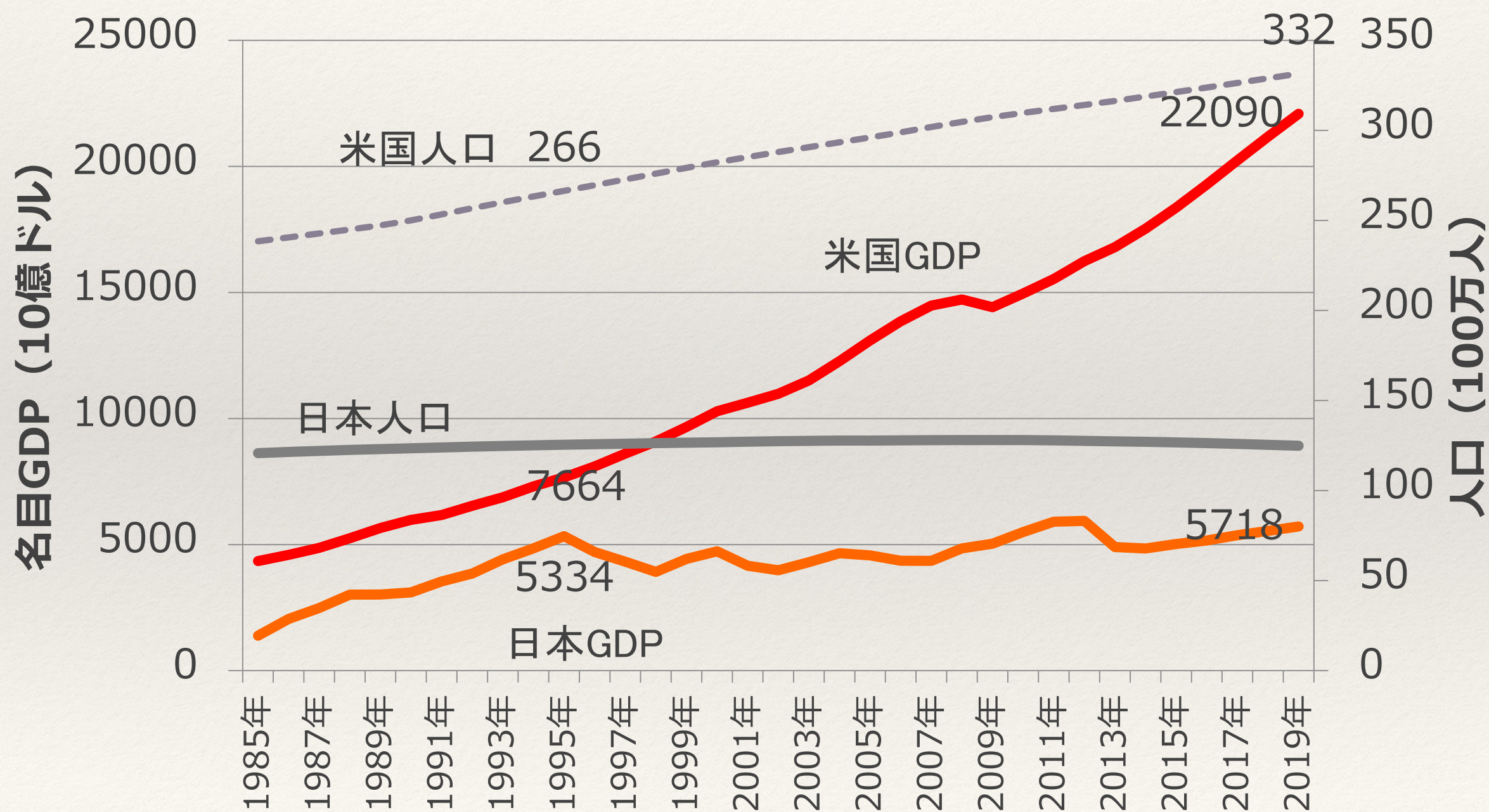


ICT革命による日本再生

Takeshi Natsuno
Professor, Graduate School of Media
and Governance
Keio University

日本が停滞する間に、米国経済は約3倍に成長

名目GDPと人口推移比較 (vs米国)



IMF World Economic Outlook(2014/7/24)より作成

※ 2013年以降は推測値

21世紀、3つのIT革命が進行中

- ❖ 第一の革命「効率革命」
 - ❖ ビジネスのフロントラインがネットへ展開
 - ❖ リアル市場＋ネット市場
 - ❖ 顧客接点の大変貌

- ❖ 第二の革命「検索革命」
 - ❖ 個人の情報収集能力の飛躍的拡大
 - ❖ 研究開発プロセス革命
 - ❖ にわか専門家量産システム

- ❖ 第三の革命「ソーシャル革命」
 - ❖ 個人の情報発信能力の飛躍的拡大
 - ❖ twitterやfacebookによる「共振」

三つのIT革命がもたらしたもの

❖ 複雑系的知識ネットワークの現実化

- ❖ 「三人寄れば文殊の知恵」から衆知のアグリゲーションによる創発、自己組織化の現実化
- ❖ 外部経済活用のためのオープンインターフェース
PFの一般化
- ❖ 「外部脳」

❖ 個人能力の最大化

- ❖ 100人の平均的な人間よりも一人のオタク
- ❖ 「組織力」の定義変化
- ❖ 組織階層の無意味化

❖ 多様化社会へ

- ❖ 拡大する標準偏差、ロングテール

変化を強要される社会システム

- ❖ 組織体制の変化
 - ❖ フラット化せざるを得ない組織構造
 - ❖ 機能しない終身雇用、年功序列、新卒一括採用
 - ❖ 個人力を最大化する組織の必要性
- ❖ 意味の無くなる平均値議論
 - ❖ 平均が高いことよりも、突き抜けた人材の活用
 - ❖ 多様性を前提とした教育システム
 - ❖ ゆとり教育は悪か？
- ❖ リーダーの役割変化
 - ❖ 利害調整型から率先垂範型へ
 - ❖ リーダーの役割はより重く、辛いものへ

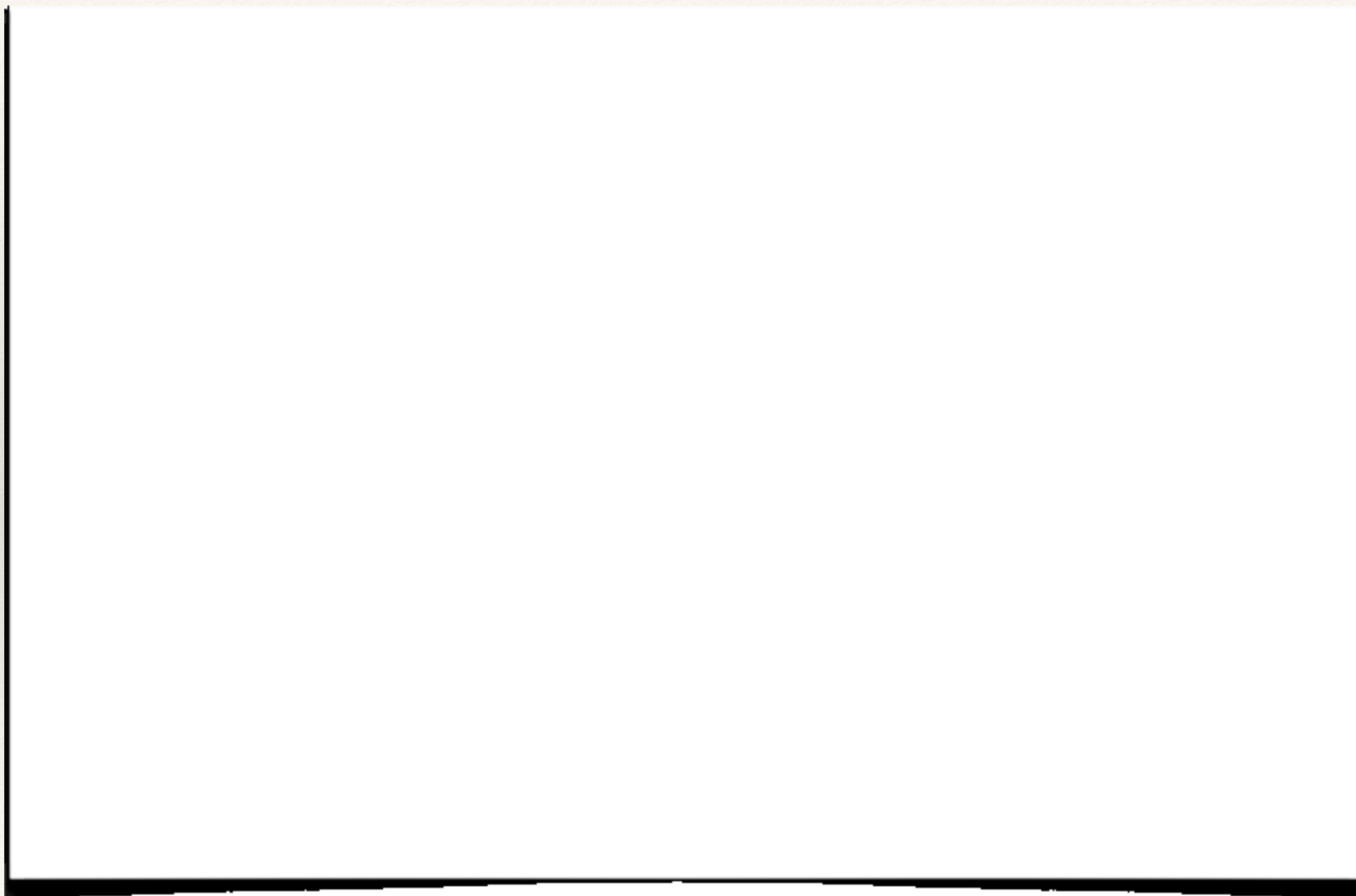
ニッポンの将来のために

- ❖ 日本は大きなポテンシャルを持っている
 - ❖ 豊富な資金力(1,600兆円超の個人金融資産)
 - ❖ 世界トップレベルのITインフラ
 - ❖ 教育水準の高さ、労働意欲の高さ
 - ❖ 企業に比較的余裕がある
 - ❖ 眠れる技術もたくさんある

- ❖ 一方で弱い部分がたくさんある
 - ❖ 語学能力の低さ
 - ❖ 個性軽視、議論軽視、予定調和好き
 - ❖ どこか他人事でも許されるぬるい社会

これらの甘えを少なくともリーダーから排除すれば
まだまだ伸びる余地あり。世界をリードする日本へ！

100年後の人口は約3分の1



50年後の労働＝消費世代は、現在の6割に満たない

「人口ピラミッドの変化(1990、2010、2040、2060) 平成24年中位推計より

21世紀に必要な人材とは

- ❖ 次世代を担うために必要な人材は過去の人材とは違う
 - ❖ 組織の中で効率的に言われたことをなんでもこなす人材から、想像力と創造力を駆使して新しい付加価値を作り出せる人材へ
 - ❖ 和をもって貴しとなす人材から議論と協調が使い分けられる人材へ
- ❖ 好きなことを見つける力、新しいことに興味をもつ力を養成しよう
 - ❖ 子どもは好きなことには集中できるし、根性も発揮する。
 - ❖ イヤなこと、嫌いなことに我慢して集中してもアウトプットは出ない時代
- ❖ できるところから今すぐシステムを変えよう
 - ❖ 決めない＋変えない＋とりあえず放置 → ニッポンをダメにする！

Thank you!

Takeshi Natsuno
Professor, School of Media and
Governance
Keio University
natsuno@sfc.keio.ac.jp

